

ラデス・コンバインド・サイクル発電施設建設計画【チュニジア】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和7年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	チュニジア共和国
(2) 案件名	ラデス・コンバインド・サイクル発電施設建設計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	首都チュニス近郊のラデスに高効率ガス・コンバインド・サイクル発電施設を建設することにより、発電能力の強化及び電力の安定的な供給を図り、もって同国の持続的な経済発展に寄与するもの。 事業内容 ・ ガス・コンバインド・サイクル発電設備及び関連施設の建設 ア 閣議決定日：平成26年6月27日 イ 供与限度額：380.75億円 ウ 金利：0.6% エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、チュニジアにおける電力の予備力は、総発電容量3,496MWに対し最大電力需要は3,353MWと逼迫していた。特に、夏季は電力需要がピークとなる一方で高い外気温により発電効率が下がることから、全国規模での停電リスクを回避するために、複数回にわたって一部地域での電力供給が停止されていた。突然の停電やそれによる断水は国民生活に大きな負担を強いており、その結果、地方都市でデモが発生するなど社会情勢にも影響を与えていた。また、2011年の革命後の経済成長に伴い、さらなる電力需要の増加が見込まれる中、新規の電源開発が喫緊の課題となっていた。 電力需要は年々増加し、2024年の最大電力需要は4,888MWとなり、計画当初よりも大幅に増加している。今後も電力需要が増加することが見込まれることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。

	イ 事業遅延に関する経緯・現状 新型コロナウイルス感染症の影響により工事が中断するとともにサブコントラクターの財務状況の悪化により事業進捗に遅れが生じたが、現在、土木工事は 90%以上完了し、貸付実行期限（2026 年 1 月）までに貸付完了予定。
（２）今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれる。また、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、支援を継続する。
３ 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料